



美しい森林づくり



「遊々の森」で林業体験

三陸中部森林管理署

当署は岩手県沿岸南部に位置し、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町の森林約30千haを管理しています。三陸沿岸は複雑に入り込んだリアス式海岸となっており、三陸復興国立公園に指定され観光名所となっています。

また、五葉山周辺の山岳林は、五葉山県立自然公園の指定を受けてレクリエーション等の場として広く利用されています。

今回は、昨年度実施した「遊々の森」での林業体験について紹介します。

当署では、平成15年から大船渡市立末崎中学校と「遊々の森」の協定を締結し、在校生に「森林と海との関わり」への理解を深めていただく取組を支援しています。

「遊々の森」は、「産土（うぶすな）の森」と名付けられています。産土とは、「その土地に生まれたことを意味し、総合学習の時間「産土タイム」では、「海と生きる」のテーマのもと、1学年はワカメの養殖、2学年はワカメの加工や販売を体験します。そして3学年では、林業体験を通じて「地域の森林と海とのつながり」を学習します。

平成27年6月26日には、林業体験に向けた事前学習として、署職員が講師となり、事前に実施した「いい森林・山とは？」のアンケートに基づき、森林のもつ様々な役割について理解を深め、森林と海との関わりや森林整備の必要性、また、「森林づくりの流れ」、「現地作業での注意点」などを学習しました。



事前学習（職員を立木に見立てた伐倒作業の説明）

同じく6月30日の林業体験は、大船渡市末崎山国有林の「遊々の森」において、3学年の生徒28名が参加し行われました。当日は、開会式の後、署職員が下刈や間伐などのデモンストレーションを行い、作業方法を確認し安全第1で作業に入りました。



作業前に下刈の実技指導

作業は2グループに分かれ、「下刈・補植・苗木ガード設置」作業と、「間伐・枝打」作業のグループが午前と午後に分かれて行いました。生徒の皆さんは署職員の指導により、先輩が植えたスギ周辺の下刈、シカなどの食害から苗木を守る保護ネットの設置や、間伐など慣れない作業に奮闘していました。



先輩が植えたスギなどの下刈

生徒の皆さんから「植えることも伐ることも、立派な森を育てるためには必要だと分かった」、「1・2年生で海、3年生で山について勉強し、それぞれが別々のものでなく、つながっていることを学んだ。生活には森も海も欠かせない大切なもの。ずっと継続して守っていくことが大事だと感じた。」などの感想がありました。

「遊々の森」での取組は、平成15年から13年間継続しています。当署としても、森林整備活動を通じて、海を育む森林を守り育てる大切さや、森林と海とのつながりについて理解を深めるための取組として、引き続き支援して行くこととしています。



スギの間伐作業